

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2018

平成30年7月25日発行

No.101

やまのべ
議会だより

2018年7月号 VOL.101



あなたの声をお聞かせください

三河橋上流の河川敷で、スポーツができるようにならないかなあ～

医療機関や買い物のためにコミュニティバスのフリー区間を設けてもらいたい

昔のような活気あふれる商店街になってもらいたい



近江グランドゴルフクラブ
練習中に一言
(町民総合体育館敷地)



五宮泉会老人クラブ輪投げ練習、休憩中での一言
(五宮公民館)

旧山辺中グラウンドを町民のスポーツ活動に使用できないものかなあ～

現在使用していない町の土地を、スポーツなど多目的に活用できないのかなあ～

わたしたちはシルバー世代を応援しています

表紙の説明



やまべ幼稚園の創立60周年記念運動会が、6月16日山辺小グラウンドで行われました。
親子一緒の入場から始まり、体操やかけっこ、おゆうぎ、まり入れなど楽しいプログラムに子供たちはとくとも楽しそう。
お父さんたちのかけっこでは勢いあまって転んでしまう人も。「あくまでも自己責任で」というアナウンスに思わず苦笑い。
空では万国旗もみんなと一緒
に楽しそうにおどっているようでした。

編集後記

周囲の樹々もすっかり新緑につつまれ、日増しに夏の気配を感じ、田んぼではカエルの大合唱が聞こえてくる季節となりました。
玉虫沼農村公園の「かおりの広場」では、爽やかな高原の風を受けて「紫のじゅうたん ラベンダー」が、癒しの空間を醸し出しています。今年も生育も順調で、ラベンダー祭り終了後も花やアウトラードアが楽しめます。ぜひご来園して、日ごろの疲れを解消してはいかがでしょう。
また、議会だよりも101号の発行となり、一つの節目である100号を通過点として、「よりわかりやすい・親しみやすい」発行に向けて、さらに努力してまいりますので、ご意見・ご要望をお待ちしております。

神保 稔記

発行責任者

議長 齋藤 邦彦

広報常任委員会

委員長 遠藤 真由美
副委員長 本田 四志子
委員 本 藤 昭彦
委員 齊 藤 裕
委員 神 保 稔
委員 渡 邊 春彦
委員 安 達 彦

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

PH / やまべ幼稚園 運動会

発行 / 山形県山辺町議会
編集 / 広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118



- 6月定例会..... 2
- 未来を話す会..... 4
- 町政のここはどうする? 一般質問..... 6
- 新しい町への挑戦 議会活動報告...14

●発行 / 山形県山辺町議会 ●編集 / 広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷 / 藤庄印刷株式会社

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



町・議会・町民がスクラム組んで 持続可能な地域経営を実現

定例会のあらまし

第2回定例会が6月5日から6月7日までの3日間の会期で開催され、6人の議員が一般質問を行いました。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定、平成29年度一般会計補正予算など専決処分の承認、山辺町駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定、平成30年度一般会計補正予算などの議案を審議しました。

また、山形広域環境事務組合議会議員の選挙、議員発議による「行財政調査特別委員会」の設置に関する決議が審議され、いずれも全会一致で可決・承認されました。

※議員発議とは 議員が議案を議長に提出して審議を求めること。



子どもたちの未来のために

町の台所事情は大丈夫か

町の財政状況は、地方交付税などの減収に加え、扶助費の増加や、公共施設維持管理への対応などにより、非常に厳しい状況にあります。町では後年度負担を減らすため、歳入の確保と歳出の抑制に努め、特別職ならびに一般職の給与削減も実施し、行財政改革に取り組んでいます。

「行財政調査特別委員会」を設置

これまでの町の財政状況について、経緯ならびに現状、今後の行財政改革への取組みなどを調査し、議会も一緒になって改革を進める必要があることから、「行財政調査特別委員会」を設置しました。本委員会の委員長には鍋倉竹志議員、副委員長に渡邊裕二議員を選出しました。

平成30年度 一般会計補正予算

歳入・歳出それぞれ1645万円を減額し **総額51億3766万円** に

主な補正内容

- | | |
|---|--|
| <p>【増額】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園施設整備補助 1680万円
調理室などの施設整備内容変更にとまなう増額 山辺温泉保養センター修繕工事 180万円
屋外キュービクルの損傷による修繕 | <p>【減額】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山形広域環境事務組合負担金 2005万円
事業費負担額の変更による減額 道路舗装補修工事 2200万円
国の内示額減額にとまなう工事内容の変更 給食配送業務委託料 267万円
業務の見直しによる配送委託業務費を削減 |
|---|--|



車の衝突によると思われる損傷

特別会計補正予算

会計名	理由	平成30年度予算額
介護保険特別会計	新規の総合事業対象者に対する診療情報提供書作成費用の助成に6万円を増額	総額 15億7023万円

※専決処分

平成29年度一般会計補正予算
交付額などの確定による調整につき、278万円を減額し、総額53億6001万円とする

- ・ 繰越明許費繰越計算書
29年度山辺地区都市再生整備事業2765万円を30年度に繰越
- ・ 平成29年度東村山郡山辺町土地開発公社決算
平成30年度東村山郡山辺町土地開発公社予算
- 〈人事〉
・ 山形広域環境事務組合議会議員選挙
齊藤昭彦議員 遠藤真由美議員 を選出

※専決処分とは 本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、町長が、地方自治法の規定に基づき、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

承認 報告事項

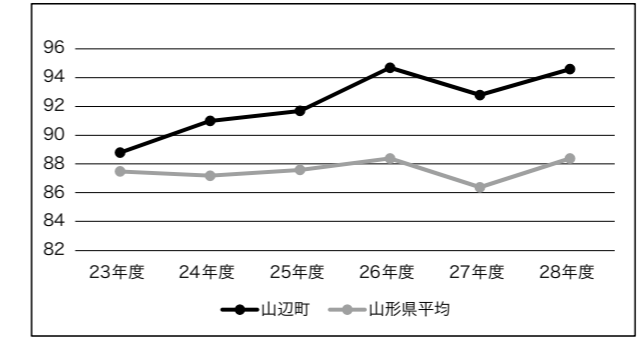
- ・ 町国民健康保険税条例の一部改正（※専決処分）
税額判定基準の見直しによる低所得者に対する軽減基準の拡充。
- ・ 町税条例の一部改正
町の認定を受けた中小企業の新規設備投資について、固定資産税がゼロに。
- ・ 町駅前広場の設置及び管理に関する条例
駅前広場を駐車場として整備。夜間駐車のみ使用料は1000円となります。
- ・ 町営住宅条例の一部改正
ウイングガーデン山辺の整備により南風園住宅を廃止。

可決 主な条例の制定

経常収支比率の推移

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
山辺町	88.8	91.0	91.7	94.7	92.8	94.6
山形県平均	87.5	87.2	87.6	88.4	86.4	88.4

(山形県企画振興部資料より)



経常収支比率とは、人件費や扶助費、公債費など縮減することが容易でない経費に、税などの一般財源がどの程度費やされているかを示した割合。割合が高いほど財政運営が厳しく、山辺町は県平均より高く上昇傾向にある。

ご参加いただき
ありがとうございました

8回目となる議会報告会を6月2日(土)、中央公民館で開催しました。
今回も3つのグループに分かれ、参加者と議員が膝を突き合わせてじっくりと話し合い、たくさんのご意見やアイデアをいただきました。
ご意見は、今後のまちづくりに活かして行きます。

未来を話す会

第8回議会報告会



学校跡地などの利活用方法

- * 今後の学校跡地については、民間ではなく公的団体が入ってくれば地域活動や運動会などで利用しやすい。
- * 学校の長期休みに利用できる学童保育や学習塾などの施設に。
- * 高齢者向け施設、老人ホームなどに利用できないか。
- * 中山間部の学校跡地は、更生施設に利用できないか調査してみてもいい。
- * 今後の人口減少など避けて通れない問題もあるので、民間に売却してはどうか。
- * 町に寄付いただいた大門地区内の土地が活用されていない。倫理上の問題もあるが民間に売却して有効に使ってもらったらどうか。

福祉関係・その他

福祉関係

- * 高齢者の免許返納でコミュニティバスの無料券がもらえるが、足の悪い人はバス停までも行けない。フリー区間を設けてほしい。
- * 夫が返納すると妻の移動手段も減る。妻にもバスの無料券が出れば助かる。
- * 70歳以上の温泉利用券、10枚の範囲内で良いので送迎の家族も使える分があると良い。
- * 在宅で介護している方にもっと手厚い支援を。
- * 山形市の高齢者は100円で入れる温泉施設がある。山辺でできないか。
- * 特別支援学級の生徒が支援学校に進学しても、親を亡くし精神的に不安定でやめてしまったり、卒業しても仕事が見つからないなど、社会に出てからのサポートをする支援員や相談員が必要では。

その他

- * ふるさと納税ばかりに目が行くが、町税の未納分を減らす方が先なのは。
- * 道路わきの田んぼ、コンビニ周辺などにゴミが目立つ。
- * 子育てに支援し過ぎでは。子ども手当を本来の目的のために使っているのか疑問。

山辺町に住みたくなる魅力あるまちづくり

- * 山辺町に住みたいのに土地の規制などにより諦めている人がいる。規制の緩和を強く望む。都市計画、市街化調整区域などの見直しを時間をかけずにやって欲しい。
- * 子どもたちが屋内で遊べる場所がもっと必要。特に冬期間。
- * 町内の案内表示が少ないため道に迷う人が多い。主要な公共施設への表示を。
- * 山形市は工業団地など開発が進んでいる。第5次総合計画が絵に書いた餅にならないように望む。
- * 三河橋隣接の水防拠点施設ヘリポートはいつできるのか。
- * 玉虫沼周辺を、ラベンダーだけでなく年間楽しめる花いっぱいの魅力ある誘客場所にして、リピーターを増やしては。

会を終えて

今年もグループに分かれ参加者全員のお声を聞くことができました。町内跡地の利活用やまちづくりについては、これまで委員や一般質問などで取り上げてきたものが進んでいないのが現状です。厳しいご意見もあらましが、皆さんからも町に届け、これに向けて努力していきまします。今後、報告会の開催時期や持ち方について検討したいと思います。



未来創造

維持する時代終焉 店じまいも必要では

(町長) コンパクトな土地利用を促進し、持続可能な社会の実現を目指す



渡辺 知広

質問 今年度の予算編成を見て背筋が寒くなるほど正直大変驚いた。でも、裏を返せば長期的展望に立った場合それだけ深刻な状況に陥っているということに他ならない。議員になって2度目のインパクトだ。1度目は人口が1万5千人を割ったとき。頭では理解しても、数字に表れるとどうとうきてしまったと落胆した。人口減少ストップに向きまざまな政策を講じても歯止めが掛からないどころか加速する様相を呈している。国立社会保障・人口問題研究所の推計でいくと、出生率が上がらなければ2050年を超える辺りで国の人口が1億

人を割り込み、山形県の人口は75〜65万人、町の人口は現在の構成比でいけば8〜7千人台と半減する。3月に示された町の国土利用計画にある、コンパクトな市街地作りには大いに共感するところだが、どうして



セミの抜けがらだといいたいけれど…。 (旧 山辺中・鳥海小)

答弁 今年3月に策定した国土利用計画は、第5次総合計画の基本構想に即し、今後の人口の見通しを踏まえたものである。少子高齢化による人口減少が進むなか、インフラ整備の拡充は困難な状況を考慮し、「コンパクトな市街地」の形成を基本とした土地利用を促進。住宅地や商業地などの宅地需要については、市街地内の農地や低未利用地の有効活用を努める。既成宅地周辺部において、農業と十分に調整しながら、関係法令の適切な運用により土地の有効活用を図ることを町の土地利用の基本方針としている。

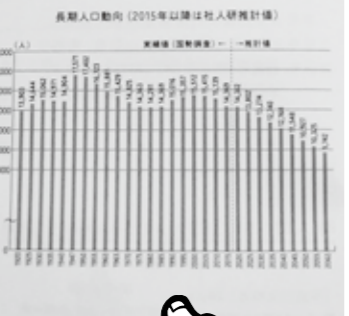
行政と住民や民間事業者が一体となり、コンパクトな市街地」の形成を基本とした土地利用を促進。住宅地や商業地などの宅地需要については、市街地内の農地や低未利用地の有効活用を努める。既成宅地周辺部において、農業と十分に調整しながら、関係法令の適切な運用により土地の有効活用を図ることを町の土地利用の基本方針としている。

意見 体力のある内に付けて、無くす物は無くしてしまわないと、無責任な遺構を未来の子孫たちに残していった自分勝手な先祖様たちになりかねない。店じまいは勇気が必要。



本町の人口は減少が続く見通しです

本町の人口は平成27年10月1日現在で14,363人となっています。過去から現在、将来にかけて本町の人口は右図のような推移を見せており、第二次大戦後の1947年が最も多く、以降高度成長期にかけて減少が続いてきましたが、1980年頃から増加、現在はピークも過ぎて減少に転じつつあります。2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値ですが、一貫した減少傾向が続き、2025年には1920年時点のこれまでの最少人口を下回り、2060年には1万人を割り込むと推計されています。



人口減少社会へ (第5次総合計画より)

町政の一般質問 ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



傍聴しませんか 次回の定例会は9月4日からです。お気軽にどうぞ。電話 023-667-1117 (議会事務局)

6月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

- 渡辺 知広** **未来創造** 維持する時代の終焉 店じまいも必要では
- 鍋倉 竹志** **高齢者支援** 高齢者自立支援事業「配食サービス」について町の取組みと考えは
- 渡邊 裕二** **教育改善** 当町の教育の未来は
- 安達 春彦** **地域教育** 山辺町の地域教育に対する取組みは
- 武田啓一郎** **行財政改革** 行革推進 まずは整理整頓 事業推進は公益成果を最優先
- 斉藤 昭彦** **町政運営** 次期町長選への出馬の意思は

町ホームページで 議会中継を 発信中!!

一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

行財政改革

行革推進 まずは整理整頓 事業推進は公益成果を最優先

(町長) 中長期的視点に立ち財政健全化へ



武田啓一郎

質問 2市2町合併協議破綻を機に、平成18年度に行財政改革大綱および行財政改革実施計画を策定し、取り組んできた。成果と評しながら、今年度予算で財源不足などの事由により、町職員などの給与減額措置をした因果関係が、いまだ整理納得できない思いがある。財政運用の根本原理原則は「入りを量りて出を制す」。どれだけの気概と手立て、取り組みであったか、気がかりだ。

答弁 行革の第一歩は、整理整頓。文書管理規程に基づきファイリングシステムに

答弁 第3次行革大綱で、1次の「大きな成果」を、「一定の成果」と修正している。

システムを導入しているが、システムの運用状況とチェック体制は、職員のデスク周りも、課や係により整理整頓に差異があるが指導状況は。



12年間の行革 町は公益成果として山辺中学校建設事業をあげている。さらなる行革で何をめざしていくのか

文書は、文書管理規程に基き、適正に整理されている。本庁舎移転20年を迎え、庁舎搭屋内の整理など、快適かつ安全なより良い執務環境の継続的な確保に努めている。

質問 第3次行革大綱の「質」の向上をめざしながら、具体的なにはどのような政策の実現なのか。

高度化する行政サービスの丁寧な提供等に徹しとあるが、一方的に感じる。町民に温か



ムダと節約の見極めが肝要 まずは整理整頓が第一義 (文書ファイリングシステムの的確な運用)

答弁 2月に行財政改革推進室を再設置以降、さまざまな検

質問 本年度予算後、財源確保対策の検討会や給与削減止む無しまで困窮している。財政運営に関し、県との協議は行われたのか。

答弁 町民へのサービスの充実と住民満足度の向上につなげていくことや職員自身も、柔軟な姿勢と配慮を念頭に置き、説明責任を果たす努力をしていく。

答弁 山辺中学校建設と山形市への消防事務委託。町独自事業のドクターヘリ支援事業。今後、職員と一丸となって、中長期的視点に立ち財政健全化への対策を推進していく。

質問 現在、行革で「見える化」している取り組み、行革推進の公益成果は何か。

答弁 現在、行革で「見える化」している取り組み、行革推進の公益成果は何か。

討協議を進めている。県とは継続的に協議していく。

地域教育

山辺町の地域教育に対する取組みは

(町長) 学校教育、生涯教育、地域間交流をさまざまな形で推進、支援していきたい



安達 春彦

質問 今後は個性に合わせた能力を見つめ、伸ばすことがますます重要になると考えるが、そのきっかけづくりや環境づくり、社会交流を行う町としては、どのような教育振興計画を考えているか。

答弁 学校教育においては、専門員による学校や幼稚園・保育所の巡回相談などを行い、指導や助言、調査、研修などさまざまな教育支援を考えている。生涯教育においては、「中高生ボランティアサークル」「ミルク」の指導育成や「赤ちゃん先生」などを引き続き実施していく。地域間交流においては、友好都市である日立市



ICTを取り入れた教育で可能性を広げる

質問 指導体制充実の観点では、何が課題だと考えているか。

答弁 新しい学習指導要領の体制整備、英語教育における小中学校の進度調整、探究型教育の推進と考

質問 例えば教員にタブレットを配布し、自ら指導案や指導事例を学べる教師専用のノウハウ交流ツールをつくり、必要ときに直接調べ、ときに相談できるなど、先生への「指導」から「ノウハウ共有」の仕組みを作る方法もあるのではないか。

答弁 先生たちが新たな情報に触れることは重要だと考えている。今後は自己改革する意思が先生にも必要だ。

ている。また先生たちが授業に集中し、子どもたちと触れ合う時間をつくるために、授業以外の作業のスリム化や、人材を配置して負担を減らしたい。



生徒の学び合いを促進させる働きかけ

質問 ICTを使えば、映像通信を使った世界の学校との交流、オンライン英会話、SNSを使った気軽な相談室など実現できることがある。

答弁 地方こそ、ICTの必要性も重要性も高いと思っているが、ICTを具体的にどのようなように取り入れる方針か。

質問 友好都市である日立市との交流を通じ、一緒にタイアップして行う切り口は何か考えているか。

答弁 交流を続け、一緒にできることがあれば考えていきたい。

質問 今後については未定である。できるだけの多くの町民が相談しやすい環境を作りたい。

答弁 ICTとは、コンピュータやインターネットに関する情報通信技術のこと

どうなったべ？ あの質問



議員が定例会で行った一般質問が、どうまちづくりに反映されたか、これまでの質問の一部を取り上げました。

町政運営

次期町長選への出馬の意思は

(町長) 6期目の立候補を決意した



斉藤 昭彦

質問 11月5日には5期目の任期満了を迎えるが、これまでの実績を基に6期目となる次期町長選出馬を考えているのか。

「あるべき山辺町」の姿として、第一に、全ての人が人間としての主体性を確保し、生き

答弁

5期、20年間にわたり、町政を担わせていただいている。公平・公正・公開を基本理念とし町総合計画の実現に向けて、全力を傾注してきた。今後も引き続き、昨年12月に策定した第5次山辺町総合計画の実現と実行に向け、医療福祉関係、基幹産業の育成、保健福祉施設の充実を着実に進展させたい。山形市との広域合併、もしくはその方向性の中にある広域連携の推進、広域行政などの重要事業が山積し

「あるべき山辺町」の姿として、第一に、全ての人が人間としての主体性を確保し、生き

第五に、必要以上に貪らず、常に次世代へ伝えてゆく、謙譲の精神が存在するまち。



広がった駅前通り

生きと輝いているまち。第二に、成長しつつも適切なスピードで緩やかに周りを育てて包み込む、広い心を持つまち。

第三に、お互いの個性を尊重し、さまざまな価値観を認め合い、彩り豊かなまち。

第四に、相互に助け合い争いごとのない、平和で柔らかな人間の住むまち。

第六に、各人が自主的意識で行動し、生活環境の維持、快適さの向上に努めるまち。

「こだわりのものづくりのまち」、「協働と安心のまち」以上3つの「大切にしていきたいこと」を念頭に置きながら、関係機関の方々と協議検討を重ねて、前進ある事業としていく。

質問 跡地利用計画、観光を活かした町づくりなどの施策は、

答弁 第5次総合計画に示した「みんながつながる協働のまち やまのべ」を基本理念とし、「子育てと元気のまち」、

第5次総合計画のなかで 諸課題をどう展開していくのか

平成30年3月1日 第1回定例会

山辺駅舎・広場に 夢と希望のあかしを

平成28年3月2日 第1回定例会

Q 駅舎を歴史観ある建物にするため、駅舎入口に旧山野辺陣屋玄関のイメージ化したデザインを求めたい。

A 町の玄関口にふさわしい景観の形成を促すデザインを検討していく。

Q 都市再生整備事業で国の補助金を活用しての駅舎改築は困難であるが、山辺駅舎改築をこのたびの都市整備の目標にしたらどうか。

A 今後はJR東日本に対し、駅の改築をしていただくよう引き続き要望していく。

現状 駅舎改築は、町とJR東日本および県の協議を行う中で、期間内での完了は困難と判断。都市再生整備計画から除外し、駅前広場の整備のみを実施する。

経過

平成27年1月 社会資本総合整備計画 山辺地区(第2期)都市再生整備計画策定

駅舎改築とする観光交流センター・駅前広場などを基幹事業に

平成27年7月~12月 山辺駅舎・ランドデザイン懇話会を3回開催

平成28年3月 山辺駅舎・周辺ランドデザイン基本構想策定(ホームページで公表)

平成29年2月 都市再生整備計画内容の変更(議会全員協議会で説明を受ける)



平成30年8月をめどに、駅前広場を駐車場として整備する。町内商店を利用する方や観光客、また駅利用者の送迎時の一時待機などに利用される。



第5次総合計画に向かって

総務文教常任委員会

ウォーター 슬라이ダー使用中止

町民プール設備の一部中止について5月1日担当課より説明を受けました。町民プールは平成9年度より営業を開始して21年間経過し、ウォーター 슬라이ダーも老朽化が進んでいます。町では、滑り台表面のFRP塗装やポリマーコーティングの修繕を例年実施してきました。今年度も使用するにはスライダー部の大規模改修が必要ですが、厳しい財政状況により、今年度の使用を中止することとなりました。委員からは、利用者のため、侵入防止、



早期再開が望まれる

着水付近の安全性に特段の注意を払いスライダーの維持保全に配慮して、次年度以降使用できるよう管理して欲しいと要望しました。

厚生産業常任委員会

町内の待機児童の実態と解消策は

国の待機児童の定義の見直しにより、町内では7人(県内3市町で47人)が待機児童となり、その実態と解消策について5月7日担当課と協議を行いました。安達峰一郎記念保育所も、ゆりかごすくすくランドも満所状態となっており、受け入れ枠が不足している状況となっています。町内の幼稚園において、31年度開所予定の認定こども園に移行する計画があり、1・2歳児の枠が増える見込みです。さらなる子育て支援の強化と保育サービスの拡充、幼保連携した待機児童、隠れ待機児童の解消に向けて取り組んでいただくことを求めました。



山形新聞 (2018年4月24日)より

※1待機児童の定義：「保育の必要性の認定がされ、特定教育・保育施設(保育所等)又は特定地域型保育事業(小規模保育)の利用の申込みがされているが、利用していない者」をいう。
※2認定こども園：幼稚園と保育所の機能や特徴を合わせ持ち、地域の子育て支援も行う施設。施設を利用するには、町からの認定を受ける必要がある。

厚生産業常任委員会
国道458号改良促進特別委員会

上宿十字路―大寺間
早期着工に向け道路幅員の変更

主要地方道山形朝日線(上野く大寺間)については、平成27年度に両側歩道(W≒16・5m)として協議されてきました。しかし、西側には住宅が点在するのみで、町による開発計画もなく、西側歩道の整備効果が薄いこと、大寺小学校の統廃合により、通学形態が変更となること、また町として早期完成を望むことから、片側歩道(W≒13・0m)に変更し、事業の推進することになりました。



早期着工が待たれる山形朝日線

宮崎県都農町議会来訪

山辺の地域力がつなぐ
命のリレーに感銘

宮崎県都農町議会文教厚生常任委員会が、6月22日ドクターヘリ支援事業と保健福祉センターの取り組みを調査するため来町されました。都農町では、中山間部における万全な救急体制の整備や医療保健センターを建設する計画もあることから、先進地である町の現状を調査しにきたとのこと。当議会からは正副議長はじめ各常任委員長が同席し担当課からの説明を受けました。ドクターヘリ支援事業では、町の消防団員からも協力いただいている地域に感銘の様子。また保健福祉センターの取り組みでは、水中運動をはじめとする健康教室が毎日開催され、健康増進に力を入れていることに関心が寄せられ、ぜひ参考にしていきたいとのことでした。



ドクターヘリの説明を受ける都農町議会議員

東京山辺会

ふるさとを思う気持ちは一緒

東京山辺会の総会が、6月17日東京都上野のホテルパークサイドで開催され、樋口議員・安達議員が出席しました。総会では、24年間会長を務められた伊藤健助会長が退任され、会長に新たに稲村三夫さんが選任されました。前伊藤会長には、これまでのご功労にあたたかい拍手が送られました。懇親会では、町出身の歌手、青山ひかるさん、シュガーシスターズさんから会場を盛り上げていただき、とても素敵な時間を過ごすことができました。一年に一度の交流会。故郷を思う気持ちはどこにいても一緒だとあらためて気づくことができました。また皆さんにお会いできる日が楽しみです。



さくらんぼを囲んでの交流会

県町村議会広報研修会

「伝える」から「伝わる」議会報へ

読みたいくなる議会だよりを作るための研修会に5月31日参加し、読者の立場に立った編集で、議会活動をたくさんの方に伝えられる紙面づくりを学びました。先生には「やまのべ議会だより30年1月号」を批評していただき、「良い素材でひきつける写真やレイアウト」「トータルで読者をあきさせない編集」と、すべてのページで高い評価を得ました。議会の活動を多くの方に知っていただくため、誰もが読みやすい紙面をこれから作っていきます。



何度受けても新たな気づきが

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 第39回山形大花火大会	山形市須川河畔 反田橋付近	8月14日 (火)	山形の夏の風物詩。今年のテーマは「満天～百花が織りなす光の饗宴～」約2万発の花火が打ち上げられます。	山形大花火大会 実行委員会 Tel. 023-632-8665
上市市 第48回かみのやま温泉全国かかし祭	市民公園 (市役所東側)	9月29日 (土)～ 10月8日 (月・祝)	今年のテーマは「平成のおもいで」。昔ながらのかかしのほか、世相を反映したかかしなどが会場に並びます。	上市市観光物産協会 Tel. 023-672-0839
中山町 第11回元祖芋煮会in中山	最上川中山緑地 (イベント広場)	9月29日 (土)	芋煮会発祥の地である中山町で開催されます。しずくちゃんマルシェ同時開催により出店も立ち並びます	元祖芋煮会実行委員会 Tel. 023-662-2114

出前議会募集中!

対象 地域の集まり・子ども育成・グループなどの団体
お問い合わせ・お申し込み 議会事務局 ☎023-667-1117 ★お近くの議員までお気軽にお話しください